

PLANETARY

映画「プラネタリー」上映会 & ダイアログ in 仙台

2017年2月12日(日)14:30~17:30
エルソーラ仙台・大研修室

私たちは地球「上」に生きているわけではありません。私たち自身が地球なのです。46億年の深い眠りを終え、ガイアは今、私たちを通して目覚めようとしています。プラネタリーは現代という未曾有の時代をいかに生きるかを私たちに問いかけます。

この映画を通して私たちを支える生命の織り物の存在に気づき、人間として生きることは惑星として生きることであるというメッセージがみなさんに届く事を願っています。

California Institute of Integral Studies
Philosophy, Cosmology and Consciousness
教授
シヨン・ケリー

Planetary: 2015年・アメリカ製作

Directors: Guy Reid, Steve Watts Kennedy

Stars: Bill McKibben, Brian Swimme, Charles Eisenstein, Paul Howken,
Joan Halifax, Joanna Macy, Mary Evelyn Tucker, Sean Kelly …その他

主催: 映画「プラネタリー」上映対話会・仙台実行委員会
お問合せ: 090-2988-3855 (佐藤)

日本語字幕製作チーム



塚田康盛
チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム
ファシリテーター、プロフェッショナル
・コーチ、茶道教授



齊藤由香
活動家、翻訳家、ワークショップフ
ァシリテーター

母なる地球の恵みを感じる時間(とき)を、ともに・・・

映画「プラネタリー」予告編 (<https://youtu.be/1hNG3zgXTNA>)



私たちが生きているこの時代は、多くの人びとのなかに地球人としての意識が目覚めつつある時代です。

この目覚めのきっかけは40年以上前、テクノロジーの進化によりもたらされました。

そして今、地球規模のさまざまな困難や危機が、より多くの人びとの目覚めを必要としています。

地球温暖化・環境汚染・放射能汚染・森林伐採・海洋資源の枯渇…といった問題はもはや一国の問題ではありません。どの国なら安全で、どの国は危険というようなことはないのです。

こうした危機的状況は時として人びとの不安を煽り分断をうみ出します。

世界中のさまざまなニュースがそれを裏付けています。私たちが生きるのはまさにこうした時代なのです。

この危機が私たちがバラバラにするのではなく、

この危機によって私たちが互いに理解し助け合える関係を築いてゆけるよう願って

上映会と対話会を企画しました。

仙台で初演となる上映会にぜひご参加ください!

日時: 2017年2月12日(日) 14:30~17:30

場所: エル・ソーラ仙台 大研修室

〒980-6128 仙台市青葉区中央1丁目3-1 アエル 28階

TEL: 022-268-8041

アクセス: JR: 仙台駅から徒歩2分

地下鉄: 仙台市営地下鉄南北線・東西線仙台駅から徒歩4分

http://www.sendai-l.jp/whats_ls/

参加費: 一般2,500円、大学生以下1,500円(社会人大学生は除く) ※小学生以下無料

※本編上映(1時間20分)のあと、映画にまつわるダイアログ(約1時間)を予定しております。

【お問合せ・お申込みは】

こくちーず: <http://kokucheese.com/event/index/438496/>

または、090-2988-3855 (佐藤) まで



「プラネタリー」日本語字幕版製作チーム 齊藤由香・Sean Kelly・塚田康盛

「プラネタリー」仙台上映対話会実行委員会 佐藤さわ・中西百合・渋谷雅人